

目指せベストスコア!

会員交流ゴルフコンペ開催!!



ナイスショット!!

11月8日(金)、今年で2回目となる会員交流ゴルフコンペを季美の森ゴルフ倶楽部にて開催しました。
当日は天候にも恵まれ、絶好のゴルフ日和の中34名の参加者がゴルフを通じて交流をはかり、真剣な中にも笑顔あふれる

和やかなコンペとなりました。終了後は、「かくじゅう」にて表彰式を兼ねた食事を開催し、さらなる親睦を深める事ができた一日となりました。今回多くの事業所様から協賛をいただき、ありがとうございました。この場をかりて御礼を申し上げます。

《協賛企業一覧》

- ・(株)竹屋
 - ・医療法人静和会 浅井病院
 - ・神定電気工業(株)
 - ・安藤興業(株)
 - ・南総通運(株)
 - ・(株)アライ
 - ・(有)エプリー商会
 - ・(株)BPS
 - ・東金市金融懇話会
 - ・橋本参与
 - ・東急リゾート&ステイ(株)
 - ・季美の森ゴルフ倶楽部
- (順不同・敬称略)



季美の森ゴルフ倶楽部
KIMINOMORI GOLF CLUB
ベストスコアを目指します!

女性会だより



大きくなりましょう!

かねてより当女性会では、花壇の手入れ・プランターの設置などを通して、八鶴湖周辺の美化に力を入れてきました。その一環として11月3日(日)に開催された当所青年部の「八鶴湖クリーン作戦」に協賛し、桜の植樹式典にも参加させていただきました。式典では、鹿間市長・前嶋会

頭・伊藤会長(青年部)より暖かいお言葉をいただき、和やかな雰囲気の中、植樹される桜への土かけが行われました。今後も東金市が誇る観光スポットである八鶴湖の景観美化に努めていきたいものです。当日の植樹作業に参加された

青年部の皆様におかれましても、本当にお疲れさまでした。桜に関しては、当女性会の30周年記念碑の横に植樹していただきましたので、この記事をお読みになられた皆様も、八鶴湖に立ち寄られた際には、ぜひともご覧頂けたらと思います。



鹿間市長&前嶋会頭と桜の木を背に記念撮影

青年部だより 八鶴湖クリーン作戦第二部「桜植樹式典」



大きく育つことをみんなで願いました

11月3日(文化の日)、八鶴湖畔にて桜植樹式典が開催されました。東金商工会議所青年部では8年前より八鶴湖クリーン作戦の一環として、枯れた桜の樹の伐採及び新しい苗木の植樹活動を行ってまいります。今年度で8回目の開催となり、植樹本数は12本を数えるに至りました。これもひとえにご協賛・ご協力頂いております皆様のおかげと部員一同深く感謝しております。

今年度は例年とは異なり、商工会議所女性会との共同事業という形となり、女性会花壇への植樹も同時に行いました。当日は、前嶋康夫会頭をはじめ、鹿間陸郎市長、佐藤陽子女性会会長にご臨席賜り、ご挨拶を頂くとともに、当青年部伊藤会長と新しく植えた桜の苗木に土かけを行って頂きました。



子供たちもがんばってくれました。

した地域の子どもたちは苗木の周りを囲う柵の作成。自分で描いた柵板を自身の手で八鶴湖に飾るといふ体験は、なかなかできるものではなく、子どもたちにとって良い思い出になったことと思います。

来年度以降も八鶴湖の魅力をもっと高められるよう、桜の植樹活動を継続していく予定でございますので、今後も皆様方の変わらぬご支援・ご指導を頂けたらと存じます。

伊藤 恒平
文責 まちづくり委員会委員長

永年勤続者表彰式開催

11月15日(金) 蓬莱閣にて令和6年度永年勤続者表彰式を開催。当日は8社、24名の表彰者が参加し、前嶋会頭より表彰状が手渡されました。表彰式終了後の食事会では、今関栄子氏と当所総務委員会委員長の世良貴文氏による二胡とピアノの演奏が行われ和やかな空気の中終了となりました。表彰された皆様おめでとうございます。これからも東金経済発展のため頑張ってください。



これからもよろしくお願ひします

毎週開催!とうがね
スマホCLUB
毎週金曜日 10:30
~約1時間半
持ち物:スマホ
参加費:500円

12月 6日 13日 20日

新しい生活様式で「取り残され感」のある中高年のみなさん、スマホデビューしませんか?

場所:中央コミュニティセンター

第112回八鶴湖生き物調査
空を見て雨対策、雨天決行です。

12/7 SAT

帽子・タオル・暑さ対策、雨対策、各自で準備をお願いします。

集合:八鶴館さくらホール
時間:9:00~11:45頃

まちの駅ネットワークとうがね
問(株)街波通信社 TEL 0475 (86) 7772

山の辺から⑨

ある儒学者の見た東金

師走になると聞こえてくるのが「忠臣蔵」の話。元禄15年(一七〇三)に起こった赤穂浪士の討ち入りだが、このとき浪士のために「討ち入り口述書」を添削したのが、儒学者の細井広沢(ほそいこうたく)一六五八~一七三六だ。

彼が享保7年(一七二二)に東金を訪れた際の記録が「壬寅(じんいん) 四月の記」に残る。幕府の命で佐倉周辺の検地に派遣されたおり、溜池として名高かった雄蛇ヶ池を視察するため、足を延ばしたのだが、池にほど近い赤人塚(万葉の歌聖・山辺赤人の墓と伝えられる史跡)を見たときには、「いてもたってもいられなくなり、田んぼの中にひざまずいて拜んだ」とある。自身も歌を詠むので、なにか感じるものがあったのだろう。

雄蛇ヶ池の景色も気に入ったようで、「ひなにはまればな趣がある。田畑の美りも豊かで、人々も優しい」というような感想を残している。ちよっと面映いが高評価はうれしい。当時の村人たちのおもてなしがよかったのかもしれない。先達に感謝である。

広報委員 下